

みさき

68号



議会HPへアクセスします

美咲町議会だより

2022年5月10日発行

主な内容

- 特集 ひと輝くまち みさき 青野町長所信表明……………②～③
令和4年度予算審査……………④～⑦
こんなことが決まりました……………⑧～⑨
7議員が町政を問う……………⑬～⑳



表紙関連記事23ページ

大きく育て美咲の子ども 夢いっぱいのランドセル
美咲町HPアドレス <https://www.town.misaki.okayama.jp>

特 集

ひと輝くまち みさき

青野町長 所信表明



美咲町が誕生して17年が経過し、あと3年で20年を迎える。
将来子どもたちが大人になった際に、あの時の大人は何をしていたのと言われたいようにしたい。その思いで、3地域の大プロジェクトを「不退転の覚悟」で挑ませていただく。

誰もが集える交流拠点施設整備

町民各分野の代表者や専門的立場の人で構成された「美咲町みらいデザイン検討委員会」において協議していただいています。世代を超えて多くの町民が集う事による賑わい創出や、地域活性化につながる施設を目指します。



義務教育学校の建設

旭学園の施設整備については、令和5年春の開校に向けて、校舎増築、改修工事の実施設計が大詰めを迎えています。令和6年春に開校予定の、柵原地域の義務教育学校整備については、現在は、敷地の埋め立てが始まっています。



小規模多機能自治の実現に向けて

各地域で住民アンケート調査を実施し、その結果をもとに、地域課題やこれからの地域づくりについて、話し合いを始めようとしています。地域の皆さんと一緒に小規模多機能自治による地域づくりに向けて対話を進めて行きます。



企業誘致の推進を図る

企業誘致について、固定資産税の課税免除に関する条例制定の議案を提案させていただきました。本条例を制定することによって、誘致企業が税制面での優遇を受けることができ、企業誘致の推進を図られることを期待しています。



予知ができない災害に備えて

災害はいつ発生するかわかりません。美咲町では、新たなハザードマップを全戸に配布できるよう、準備を進めています。また、美咲町としての防災訓練も実施する予定です。引き続き、災害に対する備えを進めてまいります。



新型コロナウイルス感染症

オミクロン株は感染力が非常に強く、一人が感染すると、家族全員へ感染を広げます。ワクチン接種後も、マスク着用や手指の消毒、換気の徹底、3密の回避などの基本的な感染予防対策の徹底を引き続きお願いします。



美咲DMOの出発

3月初旬には亀甲商店街の「旧榎本屋」の改装が終了し、新たな地域活動拠点として出発します。地域経済が活性化し、その経済効果が町内全体に波及するような持続可能な町を創ることを目指します。



所信表明に対する質疑

地域みらい計画書とは

板垣正寿 議員



問 地域づくりの羅針盤である地域みらい計画書とはどのようなものなのか。倭文西地区の例からその内容を問う。

答 地域の課題解決や目標達成のために必要な取り組みを自分たちで取りまとめた計画書のことである。倭文西地区では、現在計画書の策定中で、間もなく完成すると聞いている。

森林GISを導入

藤井智江 議員



問 令和4・5年度の2か年で森林GISを導入すると聞いた。森林GISとは具体的にどのようなもので、必要経費はいくらか。

答 林野庁が実施した航空レーザー測量のデータを解析、導入し、木の高さや本数など森林資源情報を活用し、森林整備を促進するためのもの。必要経費は、2年間で3,800万円になる。

総合支所の再編

延原正憲 議員



問 総合支所の2課体制を1課体制に再編することだが、課長ポスト1人分の職員はそのまま残すのか、それとも減員か。また、再編の目的は。

答 課長ポストの1名は減員する。課を統合することにより、縦割り行政を廃してワンストップサービスを実現させていくことに尽きると考えている。

令和4年度
当初予算案

72

項目の

意見を付して

全会一致で承認

各委員が予算や事業内容をチェック

3日間にわたり予算特別委員会を開催し、令和4年度予算案について各委員からの意見を集約。



予算特別委員会の報告書を
松島議長へ提出

予算審査において、各委員から出された指摘事項72項目をまとめた報告書を左居委員長、矢吹副委員長から松島議長へ提出。



議会からの要望書を青野町長へ提出

予算特別委員会からの報告書を基にまとめた議会からの要望書を松島議長、左居副議長から青野町長へ提出。



予算特別委員会からの報告

予算特別委員会は、新年度で執行される予算が適正なものであるかを確認するため、全ての課が所管する予算について審査を担当しています。

委員長／左居喜次 副委員長／矢吹一郎 ほかに全議員を委員とする14人で審査しています。

全体総括意見を付す！

本会議での委員長報告において指摘した特に付しておくべき意見は以下の通りです。

意見

新型コロナの感染拡大阻止

新型コロナウイルスの感染拡大は、自治体の施策にも大きく影響を与え、多岐にわたる分野で感染防止に配慮した取り組みが必要となっている。さらに、ワクチン接種については、現在3回目接種が進められているが、政府では、4回目接種の検討に入っている。第7波の到来に備えた感染拡大防止と医療提供体制の整備などを踏まえ、今後においても円滑な接種体制の確保が望まれる。

意見

小規模多機能自治で地域づくり

人口減少・高齢化社会の中で、地域の「絆」を深め、住民同士の「共助」の役割がますます重要になってきている。地域が小規模多機能自治組織として自立するまでは行政の伴走は欠かすことができない。住民が地域の中で、健康を守り、生きがいのある生活を送っていく上でも、決してどの地域も取り残すことが無く、地域住民の立場に立った丁寧な対応によって、小規模多機能自治の実現を望む。

意見

交流拠点整備実現に向けた取り組み

木材や鋼材などの建築資材が高騰し、事業費が計画当初の予定をはるかに上回る事態となっている。そういった要因で、請負事業者の選定が遅れ、事業の進捗が停滞している状況である。先般、公募要項の一部見直しが行われ、再度、請負事業者の募集が始まっているが、合併特例債の期限が迫る厳しいスケジュールに変わりは無い。さらに注力し、実現に向けた取り組みを強く求める。

意見

自治体DXの取り組み

デジタル庁では、すべての自治体に対して2025年度までに、国民健康保険、児童手当、介護保険、個人・法人住民税などの17項目を国が定めた標準システムに移行する方針を明らかにしている。推進に当たっては、人材の確保と体制の強化と共に、新しい行政サービスの創造といった側面からも全職員で当事者意識を持ちながら、長期的な計画を立て取り組まなければならない。

意見

児童虐待の解消

日常的な虐待がエスカレートした結果、胸が張り裂けそうな事件が起こり、連日報道されている。18歳未満の子どもへの虐待は、30年以上連続で増加しており、本町においても例外ではなく、虐待のケースは120人に迫り、実に全児童の6%を占める状況である。庁舎内での連携はもちろんのこと、関係機関との連携強化、さらに、人員配置、予算措置を含め、危機感をもって取り組まなければならない。

意見

町全体の借地解消

学校関係をはじめとする公共用地の借地問題は、今後、時間の経過とともに、借地に立つ施設が老朽化し危険な状態になっていくと予想され、所有者の世代交代、相続などでさらに困難な状況になっていくものと思われる。義務教育学校建設に伴い借地の目的を終えようとする今日を、町全体の借地整理の機会ととらえ、さらに踏み込んだ交渉によって借地解消を求める。



- 9月定例会：前年度決算を審議・認定



- 議会からの指摘・意見をとりまとめ
- 新年度予算などへの要望書を提出



- 3月定例会：新年度予算案を審議・承認

予算特別委員会では、決算審査で指摘した内容が「新年度予算に反映されているか」という視点で審査を行いました。

予算審査 私の意見!

一般会計	120億2,747万円(前年度比4.40%増)
16特別会計	57億4,949万円(前年度比4.17%減)
公営企業会計	9億2,405万円(前年度比0.05%増)

【※決算額は1万円未満四捨五入】

全議員14人を委員とする令和4年度歳入歳出予算特別委員会が設置され、3月10日から3日間にわたり予算審査を行いました。

今回の審査では、決算審査における議会からの要望事項が、新年度予算(案)および行政施策などに反映されているのかといった点を中心に審査を行いました。

ここでは各委員から出された72項目の指摘事項のうち主な意見を掲載します。

安全・安心

主な事業

公共施設管理、防災、国際交流、情報通信など

総務費

19億9,611万円

衛生費

10億6,218万円

小林委員



公共施設の
幅広い利用を
促す

エイコンスタジアムの使用について町民が広く利用できるよう求める。

板垣委員



危険な遊具の
早期撤去を

中央運動公園の危険な遊具の早急な撤去と、新たな遊具設置を求める。

松田委員



公共用地借地
解消

大規模プロジェクト進展に合わせて借地整理の推進を求める。

福祉・教育

主な事業

高齢者福祉、障がい者福祉、児童福祉、学校教育など

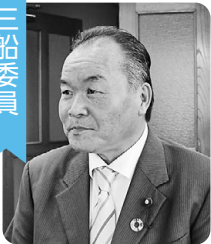
民生費

28億7,644万円

教育費

25億円

三船委員



児童虐待防止
への対策強化

関係機関との連携を強化して児童虐待ゼロを目指した予算措置を含めた取り組みを求める。

藤井委員



黄福タクシー
事業

生活保護世帯への利用拡充の検討を求める。

松島委員



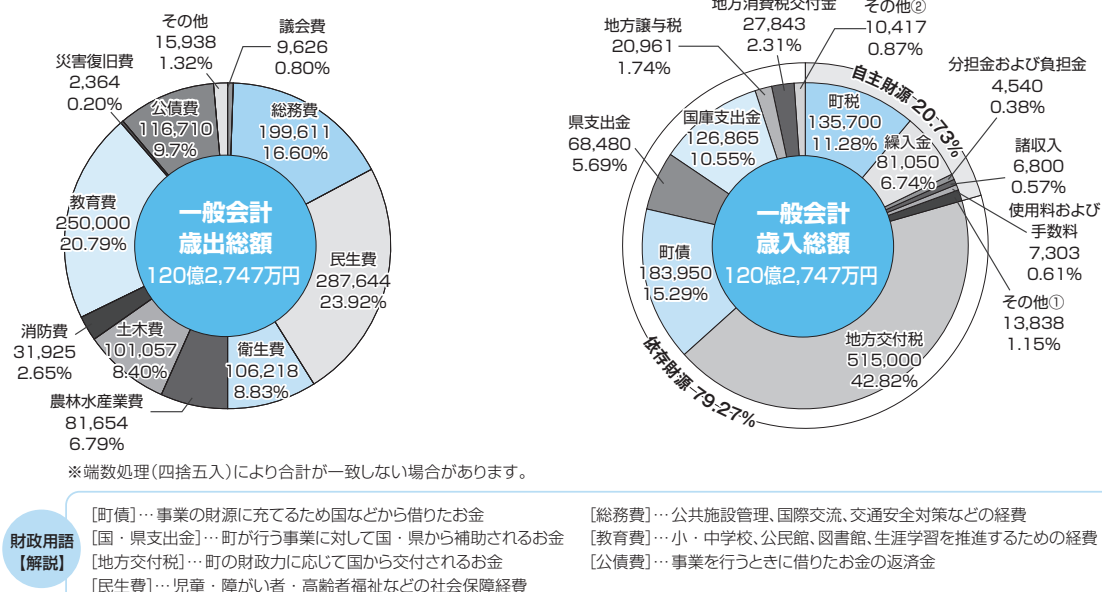
まちづくり
交付金

小規模多機能自治移行時の計画策定において標準的な予算設定の提示を求める。

令和4年度当初予算案を全会一致で承認しました。

令和4年度美咲町歳入歳出当初予算

(単位:万円)



特別会計・水道事業会計

主な事業

みさきネット、国民健康保険、介護保険、上・下水道など

特別会計事業

57億4,949万円

公営企業会計事業

9億2,405万円

形井委員



**美咲町
国民健康保険
事業**

国民健康保険条例改正に伴う保険制度の適正な運用を求める。

山本宏委員



**水道事業
料金改定**

アセットマネジメントによる料金改定において住民の負担とならぬよう対応を求める。

中西委員



**デジタル社会
への対応**

自治体DXに向けた公共施設でのWi-Fi環境の早急な整備を求める。

産業・建設

主な事業

農林業振興、道路整備、観光、災害復旧、企業誘致など

農林水産業費

8億1,654万円

土木費

10億1,057万円

延原委員



**河川などの
自然災害
防止事業**

住民からの要望に基づき予算計上された事業については、早期着工に努めるよう求める。

則古委員



**畜産飼養施設の
防疫意識強化**

町内の大型飼養施設防疫への職員の意識強化を図り研修会などへの積極的参加を求める。

山本資委員



**ふるさと納税の
使途を公開**

町の課題を考慮した、ふるさと納税使途項目の公開を求める。

以上のような審議を経て、美咲町議会は

順調な進捗への後押しを

一般会計当初予算120億2,747万円など59議案が議決されました。

柵原地域義務教育学校の建設

令和6年4月開校を目指し柵原西小学校、柵原東小学校、柵原中学校の3校を統合して9年制の義務教育学校の建設に着手する。

〔学校建設費 9億2,914万円〕



自然災害防止事業

自然災害の発生に備えて道路、河川の整備防災工事や河川の浚渫工事を行い災害を未然に防止する。

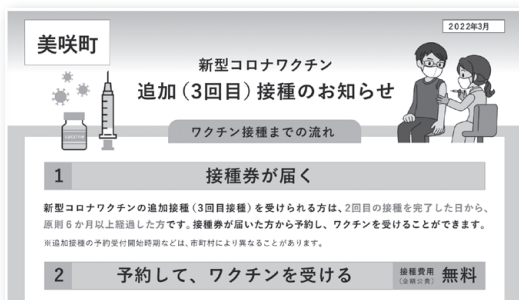
〔河川改修費 1億4,313万円〕



新型コロナワクチン接種事業

12歳以上の町民への新型コロナワクチン接種に備えている。

〔接種委託費 4,318万円〕



地域みらい計画応援交付金

小規模多機能自治組織を対象に地域課題解決の地域みらい計画達成への活動資金。(交付金)

〔地域みらい計画応援交付金 357万円〕

小規模多機能自治

- 小規模 → 小さな地域でも
- 多機能 → できることを増やし
- 自治 → 自分たちで決め、自分たちで担う(行う)。

自治会の枠を超え、協働のまちづくり協議会から、一歩進んだ地域運営組織へ。

条例

【柵原学園を設置】
改正
町立学校設置条例の一部改正

令和6年4月に施設・体型的義務教育学校として開校する柵原学園を加える。

【役場書類の押印を廃止】
押印の廃止に伴う関係条例整備

事務の効率化、町民の利便性の向上と負担軽減を図るため、押印廃止を行う。

【職員の定数を減員】

合併時から職員定数の改正が行われておらず、人口推移を踏まえた定員数とする。

議員発議

ロシアによるウクライナへの侵略を非難する決議

ロシアのウクライナ侵略は、武力の行使を禁ずる国際法の重大な違反であり、許し難い行為である。本町議会においても、決して容認できるものではなく断固非難する。ロシア軍の即時撤退とウクライナの平和の実現に全力を尽くすよう強く求める意見書をロシア大使館および日本政府に対して送付した。

3月議会

でこんなことが
決まりました

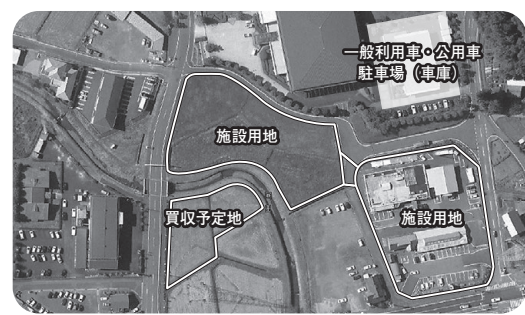
美咲町三大プロジェクト

令和4年2月28日から3月18日まで定例議会が招集され

多世代交流拠点施設設計・用地買収

中央地域に計画中の地域活性化が促進される新しいスタイルの交流拠点の設計が開始される。

〔用地買収・施設設計費 1億4,100万円〕



旭学園義務教育学校の建設開始

令和5年4月開校を目指し旭地域の旭小学校を旭中学校に統合し9年制の義務教育学校の建設に着手する。

〔学校建設費 6億8,521万円〕



○は賛成 ×は反対 (議長は裁決に加わりません)		松島議員	左居議員	山本宏議員	松田議員	延原議員	形井議員	小林議員	藤井議員	山本資議員	板垣議員	三船議員	矢吹議員	則吉議員	中西議員
議案第59号	教育長の選任	議長	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○

意見の分かれた議案



山本 宏治議員

表彰
地方自治の進展に尽力
議員活動を通じて多年にわたり地方自治の進展に尽くした功績が認められ、美咲町議会から山本宏治議員が受賞しました。
◆岡山県町村議会議長会
自治功労者表彰

契約
工事請負
契約についての提案があり、審議の結果全会一致で承認した。
◆柵原学園(仮称)造成工事10工区
(株)月の輪建設工業(美咲町)
1億4,245万円(税込)



美咲町打穴下
黒瀬 堅志(再任)

人事
教育長の選任に同意
教育長の選任が提案され賛成多数で同意した。任期は令和7年3月31日までの3年間。

委員会 の活動

総務・産業常任委員会からの報告

総務・産業常任委員会は、総務課、理財課、地域みらい課、くらし安全課、上下水道課、建設課、産業観光課が所管する予算その他の案件について審査を担当しています。

委員長／山本宏治 副委員長／延原正憲 委員／中西伶王、矢吹一郎、山本 資、松田英二、松島 啓の7人で審査しています。

【総務課】 書類手続きの押印廃止

- 問 今後、本町での書類手続きの際、印鑑が不要になるのか。
- 答 場合によるが、印鑑が必要なものの、必要ではないものを判断したうえで改正を行う。

【理財課】 まちづくり基金積立金増額

- 問 まちづくり基金増額の財源は何なのか。
- 答 土地開発基金の条例廃止に伴い4億4,089万2,000円を増額する。

【地域みらい課】 多世代交流拠点の進捗は

- 問 ロシアのウクライナ侵攻の影響は。
- 答 原油価格の高騰、さらに資材の高騰も予測されておりその他の事業にも影響があるのではないかと危惧している。



美咲町アジアの民話館桜湖邸の現地視察を行った。

今後、民間への売却に向けた準備を進めて行く予定。

【くらし安全課】 共同バス運行事業の現状

- 問 共同バスの利用状況はどうなっているのか。
- 答 現在3路線あり、利用者数は減少傾向にある。新年度のコロナの状況などを見ながら経費削減も検討中。

【産業観光課】 水稻栽培継続支援事業

- 問 米価下落に対する支援金の交付件数は。
- 答 見込み数891件に対し858件の申請があった。締切期限を3月15日にし再度集計を行う予定。

【建設課】 稗田川河川改修工事

- 問 稗田川河川改修工事の進捗状況は。
- 答 現在1工区、2工区の工事を進めており、2工区は3月末に終わる見込み。

民生・教育常任委員会からの報告

民生・教育常任委員会は、住民税務課、保険年金課、健康推進課、福祉事務所、教育総務課、生涯学習課が所管する予算その他の案件について審査を担当しています。

委員長／形井 圓 副委員長／小林達夫 委員／則吉洋介、三船博之、板垣正寿、藤井智江、左居喜次の7人で審査しています。

【住民税務課】 国保税条例の一部改正

問 今回の国保税条例の一部改正の主な理由は。

答 令和4年度から国保税率を変更するため。また、未就学児に係る国民健康保険の均等割が半額になるため。

【福祉事務所】 生活困窮者への支援は

問 国の交付金による生活困窮者への支給状況は。

答 国の政策により住民税非課税の世帯に対して10万円の給付金を支給する。

【住民税務課】 地球環境保全施策

問 美咲町環境保全条例改正の主な加筆内容は。

答 環境基本法の基本理念にのっとり、環境への負担低減および効果的な地球環境保全、循環型社会の実現などを加筆。



(津山市領家地内)

津山圏域クリーンセンターの施設内を視察した。

可燃ごみ搬入量が増加し、場外搬出となった経緯の説明を受けた。

【健康推進課】 コロナワクチン接種率

問 美咲町の2回目の接種率と3回目の接種率の動向は。

答 2回目は高齢者が90%、全年齢で86%の接種率。3回目については2月末現在で23.7%で県平均21.3%と対比し接種率はよい。

【教育総務課】 義務教育学校柵原学園へ

問 美咲町立学校設置条例の改正内容は。

答 美咲町立柵原西小学校、柵原東小学校および柵原中学校を統合し、義務教育学校柵原学園として開校するために改正。

【生涯学習課】 生涯スポーツ推進計画

問 令和4年から令和7年までの4年間のこの計画の趣旨は。

答 町民の誰もがスポーツに親しむことができる豊かなスポーツライフの実現を目指す。

委員会 の活動

義務教育学校特別委員会からの報告

義務教育学校特別委員会は、柵原地域および旭地域に建設する義務教育学校の創設に向けた取り組みに対する審査を担当しています。

委員長／山本宏治 副委員長／中西伶王 ほかに全議員を委員とする14人で審査しています。



安全祈願祭(書副地内)

2月1日に特別委員会を開催し、教育委員会が取り組んでいる美咲町立義務教育学校旭学園および柵原学園の進捗状況について審査を行った。

柵原学園について委員からプールの整備計画や開校後の通学方法などの質問があった。

また、2月17日に安全祈願祭を執り行う報告を受けた。

旭学園については担当課による旭学園開校準備委員会の予定などの説明でワーキンググループ方式で協議している。

表彰

全国町村議会議長会から 特別表彰を受賞



美咲町議会は、地域の振興発展および住民福祉向上のため、議会の活性化に積極的に取り組んでまいりました。これまでの活動が全国の町村議会の中でも極めて顕著で他の模範であるとして令和3年度全国町村議会議長会特別表彰を受賞しました。受賞に恥じることなくこれからも議会活動に励んでまいります。

美咲町議会議長 松島 啓

町政を問う

一般質問は町民を代表し、
町長・教育長などに
町の方針や施策を問います。

ページ	議員名	質問内容
14	山本 宏治	1. 国勢調査結果を踏まえどうするのか 2. 旭地域を活性化のモデルに
15	板垣 正寿	1. 消防団員の処遇改善をどう考える 2. 放置された公共施設今後どうする
16	矢吹 一郎	1. デジタル田園都市構想の取り組みは 2. 国土強靱化の実施計画は
17	中西 伶王	1. 住民サービス提供に向けた意識改革 2. 農家全体に対する支援策が必要

ページ	議員名	質問内容
18	山本 資	1. 子どもや高齢者の見守りは万全か 2. 配食サービス利用申請の条件緩和を ◇ 屋外広告物・表示物の更新が必要
19	三船 博之	1. 国道・県道の歩道整備はできているか 2. 運動公園の大型遊具はどうなるのか ◇ 地籍の再調査をするべきではないか
20	藤井 智江	1. 柵原学園に住民の声は届いているか 2. 地域の草刈り作業の状況と対策は ◇ コロナ対策は十分できているか

議会だよりには、2問まで掲載
しています。
掲載できなかった質問は◇で
表示しています。

美咲町指定天然記念物 北の一本杉(推定樹齢400~500年)

質問

国勢調査結果を踏まえどうするのか

答弁

つながり・絆のある地域を目指す



山本宏治(やまもと こうじ)議員

問

人口減少率が県下1位である。今後の振興計画の目標が困難になる。他の町村にない政策が必要と思われる。若手職員が色々アイデアを出しているが今後のプランはあるのか。

答

青野町長

小規模多機能自治の活用、義務教育学校、多世代交流拠点の整備に合わせ「公助」から「自助・共助」を中心に「つながり・絆のある地域」子どもたちが憧れる仕事場作りなど若い世代や、女性が結婚し子育てしやすい、働きたいなど目指す。

答

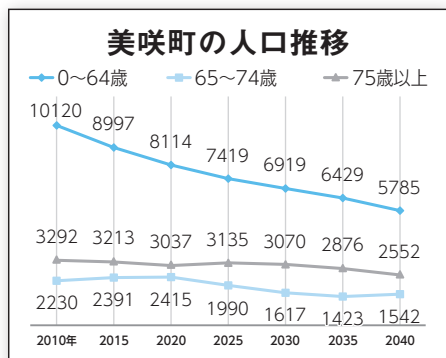
忠政副町長

人口減少率が県下1位である。今後の振興計画の目標が困難になる。他の町村にない政策が必要と思われる。若手職員が色々アイデアを出しているが今後のプランはあるのか。

職員の意見も重視し効果的な情報発信など魅力ある町にする。若手女性職員が男女(とも)に輝く幸せなプランも計画。

構想力と行動力を持つ人材とアイデアを地域の成果に繋げる組織が不可欠である。行政の意識改革もしなければならぬ。15年先を見据えたまちづくりをする。

「子育てアプリ」など住民サービスの取り組みも事業化中である。



質問

旭地域を活性化のモデルに

答弁

英語特区で関心度を上げたい



問

旭学園の開校を契機に地域の活性化が出来ないか。

答

黒瀬教育長

人口減少の中、旭学園開校を契機に学校の適正配置、コミュニティスクールの導入などを反映した学校運営を行い9年間の学習の創意工夫をする。

郷土学習など行い住民の皆さんと共同活動を通して、旭学園に転

問

校をしてきたいと思うような学園を目指す。県内の大学などへの協力要請、「地域枠」で教職員の採用など充実させたい。

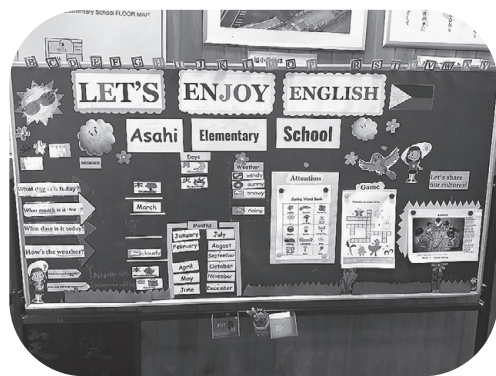
答

黒瀬教育長

大阪府岬町の淡輪小学校と旭小学校がリモートで両町の「郷土かるた」で交流。

土佐山学舎などの交流事業をし英語圏への修学旅行も視野に入れている。

英語特区を利用している。英語特区を利用している。英語特区を利用している。



レッツ スタディー



板垣正寿(いたがき まさとし)議員

質問

消防団員の処遇改善をどう考える



答弁

各種世代の意見を取り入れていく

問 現在の消防団員は、特に過疎高齢化、人口減少の課題を持つ山間地においてひた迫している状況である。核家族化、共働き、男女共同参画など生活の多様化により、なり手不足の問題も懸念される。特に操法訓練大会について、数少ない団員での参加は非常に困難である。

答 浦上くらし安全課長 操法訓練については全国的な課題であり、団員に過度の負担がかからない効率的なスケジュールで実施するなどの指摘もある。今後、団とともに訓練の在り方について検討していく。



住民の生命と財産を守る消防団

問 町内には放置されたままの施設がいくつもある。中央運動公園内の大型遊具のある広場、黄福広場内の建物、ほほえみの湯、これら3つの施設の今後の方針を示せ。

答 青野町長 民間活力の利用は賢く収縮するまちづくりにとってまさに重要となる。一層加速させていきたい。さまざまな団体、アイデアを活かす仕組みづくりに努める。



みんなが遊べる広場に（中央運動公園）

質問

放置された公共施設今後どうする

答弁

改修や民間への売却も含め検討する

また、公共施設を民間に委ねる体制整備を早急にすべきではないか。これは今後、美咲DMOが活躍する場をより広げる可能性も秘めている。

このような施設にも目を向けたまちづくりのデザインが必要ではないか。

答 忠政副町長

大型遊具のある広場は子どもたちの新しい居場所となるよう取り組む。

デジタル田園都市構想の 取り組みは

質問

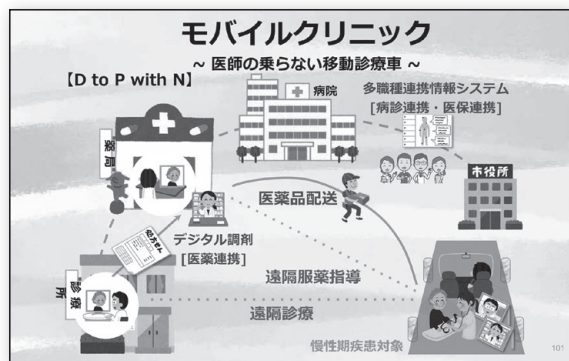
答弁

先進事例を参考に検討する



矢吹一郎(やぶき いちろう)議員

モバイルクリニック実証実験



問

①全国で、デジタル化の流れが加速する中で本町の推進計画はどうするのか。

②感染症拡大の中、全ての地域において子どもたちの学びの継続における通信環境の整備状況はどうか。

③高齢化が進む中で、地域住民が安心して、医療機関にアクセスできる、オンライン診療の取り組みの状況は。

答

浦上くらし安全課長

①デジタル田園都市国家構想は昨年末岸田総理の所信表明で

示されたが、本町では、新しい地方創造に向けた取り組みの基盤となる環境は整いつつあり

今後、自治体DXも計画的に進めていく。

②子どもたちの学びのための通信環境については、モバイルルーターの準備もしている。

③オンライン診療については、医師の乗らない移動診療車『モバイルクリニック』の実証実験も進められている。

今後、先進事例を参考に本町でも検討を進めていく。

国土強靱化の実施計画は

質問

答弁

河川改修5カ所を実施予定



問

防災・減災国土強靱化5か年計画も、あと4年となり、

期限が迫る中で、来年度の予算において、どのような実施計画になっているか。

答

前田建設課長

住民の要望書などの情報に基づき、被害想定を検討の上、現地調査の実施を行う。

自然災害防事業の河川整備防災工事において、令和4年度河川改修場所は、5カ所を予定している。

今後、計画的に事業実施の予定である。

②国、県に対して要望も含めた連携

問

により、緊急自然災害防止事業の、事業期間を見据えた長期的な改修計画の予定はあるのか。

答

前田建設課長

本町の管理河川は、国・県の管理河川に比べて規模が小さいため、単年度で完了する案件が比較的多く、個別計画になっている。

従って本町においては、今後も河川のパトロールを重視しながら、皆さまからの要望書など、幅広い情報を基に、現地調査を行い個別計画を策定し、事業化していく方針である。



水害対策の実施を



中西 伶王（なかにし れお）議員



質問

答弁

住民サービス提供に向けた意識改革

職員の意識改革を継続させていく

問 住民に対してより良いサービスを提供するためには、役場職員の環境改善と意識改革が重要な要素となる。

答 役場幹部において適切な指導はできているのか。

答 青野町長 安全衛生委員会において協議し、職員の衛生面、時差出勤の導入、宿日直専門員の配置、防災体制の見直しなど働きやすい環境を整備した。

基本である住民サービスを低下させることがないように職場環境の充実に努める。

問 一例として地籍航空写真は10年に一度の更新と聞いている。

答 図の基本となる航空写真は10年に一度の更新と聞いている。

住民からの要望に応えるためには即時に更新させるような意識改革が必要である。

答 櫻井住民税務課長 航空写真データ

の更新には1,000万円の費用が必要となるため、国の機関に無償貸与を打診している。

答 青野町長 若手職員による地域課題解決プロジェクト、各種重要計画書の自力作成など町の発展に向けた職員の意識改革を今後も継続させていく。



さらなるサービスの向上を

質問

農家全体に対する支援策が必要

答弁

農業を守るための政策を考える

問 本町は令和3年産米の米価下落に対して一俵あたり1,500円の支援金を給付している。

答 本町は令和3年産米の米価下落に対して一俵あたり1,500円の支援金を給付している。

問 本町には約45項目の農業関連事業がある。

答 本町には約45項目の農業関連事業がある。

問 今後、ブドウの産地拡大、新規就農者に向けた技能習得などの仕組みづくり、農地についてのアンケート、物産センターのリニューアルなど農業を守るための政策を考えていく。

答 青野町長 今後、ブドウの産地拡大、新規就農者に向けた技能習得などの仕組みづくり、農地についてのアンケート、物産センターのリニューアルなど農業を守るための政策を考えていく。

問 今後、水稲以外の栽培農家に対して支援金を支給する考えはあるか。

答 林田産業観光課長 本町の耕地面積

2,000haのうち約8割が水稲栽培である。町の生産面積で最大となっている農地の保全や次期作の継続に繋げるため今回支援金を給付した。

その他品目の野菜などに対しては水田農業経営所得安定対策事業の中で交付金を支給していることから、水稲支援金のような支援策



国民の食を守る農業

子どもや高齢者の見守りは 万全か

質問

答弁

町全体での取り組みが 必要である



山本 資(やまもと たすく)議員

問

少子・高齢化社会となった今、子どもや高齢者の安心確保に對してどう対応していくのか。

各地域で見守り隊の活動が行われているが、町内の活動組織はどのくらいあるのか。

見守り隊の活動はどの程度の範囲を想定しているのか。

その役割と権限は決まっているのか。

さらに、それぞれの組織同士で情報交換を行う場合において、個人情報などのプライバシーに對する配慮は行われているのか。

答

牧野福祉事務所長
見守りの協力機

関については、昨年10月に包括連携に関する協定書を締結した日本郵便(株)を始めとした団体・事業所などで186の登録がある。

このほか地域安全推進委員、青色パトロール隊、小学校の地域通学班、自治会、PTAなどそれぞれの立場で見守り方に違いはあるが、見守られる人たちの不利益にならないように配慮し、継続させることができるように町全体での取り組みが必要である。



気をつけていってらっしゃい

質問

配食サービス利用申請の条件緩和を

答弁

福祉の充実に向けて取り組む



問

本町は高齢者や障がいがある人たちの家庭に弁当を届ける配食サービスを実施しているが、このサービスを受けるためにはどのような条件があるのか。

答

山崎保険年金課長
高齢者や障がいのある人に対して、健康の保持、孤独感の解消、安否の確認を目的として平成29年度から配食サービスを実施している。

利用条件は、
①町内在住で65歳以上の世帯に属すること。
②障がいのある人で、調理が困難なため通常の食事の確保に支障があると認められる人。
事業者については、適切な事業運営が確保できる社会福祉法人または民間事業者が業務を委託している。

これまでの実績につ

問

いては表のとおり。
必要とする人が誰でも利用できるように利用申請の条件を緩和することはできないか。

答

山崎保険年金課長
この事業は介護保険制度の中での取り組みであり、皆さんが住み慣れた地域で安心した生活を継続できるように福祉の充実にも努めていく。

配食サービス事業 実施状況

	業者数	業者の地区分け	利用世帯数	利用人数	地区ごとの人数	
2年度	4事業者	柵原地区	16世帯	17人	柵原地区	17人
3年度	4事業者	柵原地区	17世帯	17人	柵原地区	16人
					中央地区	1人



三船博之(みふね ひろゆき)議員

質問

国道・県道の歩道整備はできているか

答弁

積極的に強く要望して行く



問 津山市内において、国道181号にアクセスする工事が進んでいる。

完成すると久米工業団地・津山流通センターへの最短ルートとなるために交通量の増加、大型車の通行が活発化すると思うが、歩道が無いために住民の安全が担保されていない。

答

青野町長 毎年、現地で調査を行い資料を作り、私自ら県に出向き要望をおこなっているが、

町内の国道・県道への歩道整備に対する町の考えはどうか。



歩行者の安全が最優先

問 現在改良工事の進んでいる道路については、車両増加が見込まれ懸念している。

関係機関と協議を行い積極的に強く県に要望して行くと共に、交通安全教育を行い自転車、歩行者の安全を確保するよう努力する。

答

前田建設課長

柵原地域では県道勝央仁堀中線・国道374号、中央地域では、県道久米中央線・県道久米建部線・国道429号、旭地域では、国道429号において歩道危険箇所改善を要望している。

質問

運動公園の大型遊具はどうなるのか

答弁

安全で安心な憩いの場所にする

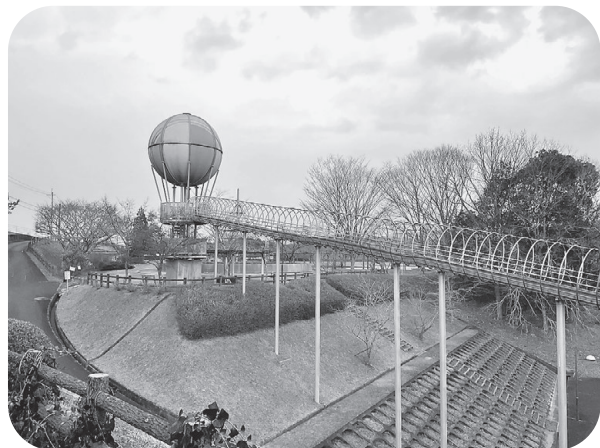
問

中央運動公園の大型遊具は家族で公園まで行き、お弁当を広げ一日を楽しく過ごし、思い出作りをした大変有意義な施設であった。安全上問題があると言う事で、使用禁止になつてから長い時間が経っている。

答 青野町長 大型遊具は解体撤去して新しい施設を作ることだが、具体的な説明を求める。

答

青野町長 児童公園の大型遊具は耐用年数が15年と言われている中、27年経過しており日本公園施設業協会が規定している安全基準に適合していない事が判明し、改修では対応できない状況であった。



新しい憩いの場を

公園のあり方を考える過程で、美咲中央小学校6年生が、憩いの場所、人の集まる場所、小さな遊具でも安全なものなどの意見を出してくれた事を踏まえて方針を決定した。

大型遊具は撤去して、子育てをする親子連れや障がいのある人も含め、誰もが楽しめる安全で安心な憩いの場所になるよう新年度早急に整備を進めていく。

決まり次第広く町民にお知らせする。

質問

柵原学園に 住民の声は届いているか

答弁

開校準備委員会で 集約している



藤井智江(ふじい ともえ)議員



新たな拠点として

問

柵原学園の開校に向けて通学路が不安、通学方法はどうなるのか不安という声は届いていないか。校則や制服はどのように進めているのか。保護者や住民の色々な不安をどう認識し、どう対応しているのか。学びの場の他に柵原地域の新たな拠点としての役割をどう認識し、どう進めるのか。住民の声を広く聞くため、全戸へのアンケートを行う計画はないか。

答

黒瀬教育長 各地域、各分野の代表、保育園・小学校・中学校の保護者、先生などに参画してもらい開校準備委員会および専門部会を設置し、計画通り開校できるよう進めている。4つの専門部会には多数の声が届き、それを集約しているのが準備委員会である。全戸へのアンケートは考えていない。地域の避難所、そして地域が子どもと関わり共に成長する学校を考えている。

質問

地域の草刈り作業の状況と対策は

答弁

道路維持管理班を配置した

問

地域によって耕作放棄地や河川敷、道路敷など、高齢化により草刈り作業が困難になり、地域の荒廃が進んでいる。この状況を町としてどう認識し、今後具体的にどのような対策を考えているか。

答

青野町長 また、地域の協働で荒廃地の広がりを防ぐために、自走式草刈り機の導入は考えられないか。耕作放棄地面積は、5年間で10ヘクタール増加。集落単位での水路清



草刈り作業は大きな課題

答

林田産業観光課長 県が自走式草刈り機を貸し出している。価格や機能、能力、地域の実情によって必要な機械を今後も研究したい。今年度から中央・旭・柵原に専門の道路維持管理作業班を配置して取り組んでいる。環境の維持は高齢化により、活動が困難になっている地区が増えている。掃や草刈りなどの保全活動により荒廃農地の発生防止と解消に取り組んでいるが地区住民に支えられてきた地域環境の維持は高齢化により、活動が困難になっている地区が増えている。

美作大学・美作大学短期大学部と 「SDGsパートナーシップ包括協定」を締結



食

大学 食物学科

人々の健康と幸せを栄養により導き食から支える専門家を養成します。

短大 栄養学科

「食」の未来を切り開いていく栄養士を養成します。

子ども

大学 児童学科

子どもの発達と教育に高い専門性と実践力を兼ね備えた教員・保育士を養成します。

短大 幼児教育学科

子どもの理解を深め、子どもの幸せを支援する保育士・幼稚園教諭を養成します。

福祉

大学 社会福祉学科

その人の想いや暮らしに寄り添った支援ができる社会福祉士を養成します。

短大 専攻科介護福祉専攻

高齢者や障がい児(者)の生活の質を高める福祉の専門家を養成します。



美作大学
うざき みのる
学長 鵜崎 実

美作大学学長の鵜崎実と申します。

私たちが学んだこと、研究したことが地域の皆さんの暮らしに活かされてこそ、そもそも本学がこの地に存在する意義であり、価値であると考えています。

このたび美咲町議会の皆さまと「SDGsパートナーシップ包括協定」を結ばせていただくことで、その道が開けることは無上の喜びであり本望です。

美咲町の皆さまのお役に立つとともに、本学の教職員、学生が地域の課題に直接関わることで多くのことを学ばせていただくこと、大変ありがたく思っています。

どうぞ今後ともよろしくお願い致します。

海の町からこんにちは

大阪府岬町議会議員との交流会を開催しました

美咲町は令和2年に大阪府岬町との間で友好交流都市協定を締結しています。

4月7日～8日、大阪府岬町議会から道工晴久議長を始めとした議員7人と事務局2人の9人が美咲町を訪れ、両町議会の意見交換や町内視察が行われました。



勢揃いした両町の議員がそれぞれの町の取り組みや課題について意見を交わしました。
共通した課題として岬町においても猪による被害が多数発生しているということには驚きました。

今春完成した美咲DMOの拠点施設にて現地視察。
地域おこし協力隊員として採用された大橋佳奈さんからの取り組み報告について研修しました。



5,000本の桜が満開となった三休公園へ視察に訪れ、現地にて交流を記念して桜の木の記念植樹が行われました。

ごみ処理に対する質問に答えるため津山市領家の津山圏域クリーンセンターの取り組みについて研修しました。



●協定締結後、両町では特産物の相互販売や子どもたちによるリモート交流などが随時行われていますが、議会同士の交流も活発に行っていくことが約束され、好評のうちに散会となりました。

出前議会

始めました!!

郵送の場合は、この部分を切り取ってください。

出前議会 申 込 書

※ 議会広報委員が
お伺いします。

〆 (切り取り線) 〆

〆 〆

令和 年 月 日

団体・グループ名	
代表者	
氏 名	
住 所	
電話番号	
第1希望	令和 年 月 日 () 時 分 ~ 時 分
第2希望	令和 年 月 日 () 時 分 ~ 時 分
届したい内容など	
参加人数	

※お申込みは10人以上で、会場の確保や準備は申込者をお願いします。
詳しくは、令和4年度美咲町まちづくり出前議会のご案内をご覧ください。

【申込方法】
「郵」での申し込み：この申込書を郵付して送付してください。
「FAX」での申し込み：この申込書を 0868-66-2038 まで送付してください。
「電子申請」での申し込み：お200円を添付してお申込みください。

問い合わせ先：美咲町議会事務局 電話 0868-66-1128

〆 〆

美咲町議会広報特別委員会では、議会活動を充実させるため、町民皆さまからのまちづくりに向けた積極的なご意見をお伺いする事を目的として、令和4年度から「出前議会」を始めます。

議会だよりにて同封しております申込書にご記入いただき、郵便、FAX、電子申請でお申し込みください。

皆さまからのお申込みを心よりお待ちしております。

※お申込みは10人以上で、会場の確保や準備は申込者でお願いします。



表紙の紹介

美咲中央小学校の入学式。初々しい29人の子どもたちが新1年生になりました。



春の交通安全県民運動

4月6日、春の交通安全県民運動出発式が開催されました。

4月15日までの10日間、町内各地で町民の皆さんによる交通安全運動が展開されました。



令和4年6月定例会の予定

令和4年6月に予定されている美咲町議会定例会は

◆6月1日(水)開会～6月10日(金)閉会の10日間

◆一般質問は6月2日(木)～6月3日(金)の2日間

(なお、日程が変更される場合にはみさきテレビなどでお知らせしていきます)



訂 正

美咲町議会だより65号8ページ人事記事の中で記載文に誤りがありました。
正しくは「情報公開・個人情報保護審議会委員」に訂正してお詫びいたします。

放課後子ども教室 第3回

美咲町では放課後子ども教室（子どもたちが放課後を安全・安心に過ごし、学習や体験・交流活動などを行う事業）が町内7教室開設されており、その中の6教室は「寺子屋」として委託団体が運営しています。



一緒に
学び
考える

寺子屋かみ

子どもたちの学力は確実にアップしています。

●どんな活動ですか

令和3年10月に開設しました。放課後の時間を利用し児童が自主的に宿題や自らの課題に取り組む活動です。また、地域の大人たちが学習活動のサポートに参加して子どもたちの活動を支えています。

●どこで活動していますか

毎週木曜日（祝日・学校休業日等は休室）の15時～17時45分までの間、加美小学校図工室で活動しています。

●参加対象はだれですか

加美小学校の児童が対象です。

●具体的な活動内容は何ですか

宿題、学習ドリルなど生徒が個々の目標（学習カードに記入）を毎回決めて、教科学習に取り組んでいます。

●活動で大切にしていることは何ですか

子どもと大人が「一緒に考える」、子ども自身が「やりきる」を基本とし、児童が自ら教科学習などに取り組む姿勢を大切にしています。

●どんなところが特徴ですか

加美小学校の校舎の一室をお借りしていますので、子どもたちには馴染みのある場所での学習環境となっています。

●運営は誰が行っていますか

みさきスタイルこども応援事業運営委員会（美咲町教育委員会生涯学習課）から委託を受けたNPO法人ファミリーリングあゆむが運営しています。

問い合わせは飯田純子（090-1181-9610）までお願いします。

編集
後記

新しい議会編

成となりはや一
年が経とうとし

ています。これまで新人議員と呼ばれてきた議員も、もう毅然とした態度で臨まなければなりません。

人口減少が叫ばれるこのご時世で、生まれたての赤ちゃんからお年寄りまで、障がいのある人、病気の人、女性も男性も、あらゆる世代の多様な人たちが手を取り合っている仕組みをどうつくっていくか。

美咲町は令和6年に向け「小規模多機能自治」を推奨しています。美咲町議会としてこれに必要な検証、提言を行ってまいります。

（板垣記）

議会広報特別委員会

委員長 三船 博之

副委員長 松田 英二

中西 伶王

矢吹 一郎

板垣 正寿

左居 喜次